

地震発生に伴う原子炉自動停止について（続報）

平成 16 年 11 月 4 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

本日、午前 8 時 57 分頃の地震に伴い当所 7 号機の原子炉が自動停止しました。
なお、当所 1 , 2 , 3 , 5 , 6 号機は、現在、定格熱出力一定運転を継続しております。また、4 号機は定期検査中です。

現在、各プラントの点検を実施しております。

外部への放射能の影響はありません。（お知らせ済み）

当所 7 号機については、定格出力で運転中のところ、本日の地震発生直後、「タービンスラスト軸受摩耗トリップ信号」^注の発生によりタービンが自動停止し、タービンの停止にともない原子炉自動停止に至ったことが確認されましたので、お知らせいたします。

また、7 号機のプラント状態は安定しており、停止後の操作を行っております。

現在、全号機の現場確認を実施しておりますが、これまでのところ、直接プラントの運転にかかわるような設備被害は確認されておられません。

以上

注：タービンスラスト軸受摩耗トリップ信号

タービンの静止部と回転部との接触を防止するため、タービンの軸方向の軸受の摩耗状態を常に監視しており、摩耗によりタービンの軸ずれが基準を超えた場合にタービンを自動的に停止させる信号。

